

			農業・水産等第一次産業支援、障害者・医療福祉支援、初等教育・情操教育支援関連、地域開発関連、スポーツ振興・青少年育成支援*関連のJICA海外協力隊派遣	JOCV	■■■■■■■■■■									
			課題別研修他（参加型地域社会開発、地域に根差したインクルーシブアプローチによる障害者の社会参加など）	課題別研修他	■■■■■■■■■■									
			地域開発及び教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■■■■■■■■■■							0.94		
開発課題 1-2 (小目標) 国際競争力向上に係るキャンペーン強化	【現状と課題】 コロンビアの輸出構造は、鉱物と農業産品が全体の約7割を占めるなど、産業の多様化・高付加価値化が重要な課題となっている。このため、国内企業数の99%を占め、雇用人口の約6割を創出する中小零細企業に対し、技術と能力の向上を通じて産業の活性化を図り、安定した雇用機会を創出することが肝要である。また、産業の多様化・新産業育成・デジタル化や生産性の向上を目指す必要がある。更に、日本・コロンビア両国の経済連携強化が求められる中、官民連携の促進を行う。				【開発課題への対応方針】 ・雇用機会の拡大を目指した中小零細企業振興政策の強化を支援する。 ・生産性の向上、品質管理、付加価値の向上などによる経済規模の拡大を支援する。 ・技術協力のスキームを活用して中小零細企業の環境に配慮した経営活動の促進を支援する。 ・技術協力等のスキームを活用して環境に配慮した地方公共サービスの改善を支援する。 ・上記方針を通じ、持続可能な開発目標1（貧困）、8（経済成長と雇用）、9（インフラ・産業化・イノベーション）、11（持続可能な都市）、17（実施手段）等の達成に貢献する。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考		
					2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度				
	国際競争力向上支援プログラム		国際競争力の向上を通じて、産業の活性化を図り、安定した雇用機会を創出することで、持続的社会的発展に向けた取組を行う。	デジタル基盤上のウシ体内フローラと草地管理の最適化による地域バリューチェーン創出プロジェクト	科学技術			■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■				3.61	
				都市政策及び都市開発のための計画・管理・資金調達手法の実施	第三国研修		■■■■■■■■■■						0.33	
				生産性向上	国別研修	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■					0.53	
				経営管理、職業訓練関連のJICA海外協力隊派遣	JOCV	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■						
			課題別研修等(職業訓練の運営・管理、先進国市場を対象にした輸出振興/マーケティング戦略など)	課題別研修他	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■								
			産業振興分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■						0.33		
重点分野 2 (中目標)	環境問題及び気候変動対策や災害対策への取組													
開発課題 2-1 (小目標) 自然災害に強いコミュニティの開発	【現状と課題】 コロンビアはアンデス火山帯、熱帯雨林地域、大川川という地勢の特徴を有していることから、火山噴火・地震・洪水など自然災害が多い。また近年は地球温暖化の影響から特に集中豪雨の被害が多く発生しているため、気候変動対策を含めた防災への取組強化は喫緊かつ最重要課題の一つである。				【開発課題への対応方針】 ・技術協力を中心とした災害に対する国家レベルの予防・対応能力の開発を支援する。 ・上記方針を通じ、持続可能な開発目標9（インフラ・産業化・イノベーション）、13（気候変動）、17（実施手段）等の達成に貢献する。									
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考		
					2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度				
	防災能力向上支援プログラム		自然災害リスクを低減するための対策能力の向上を通じて、人々の安全と生活の質の向上を図り、持続可能な社会経済発展に貢献する。	コロンビアにおける地震・津波・火山災害の軽減技術に関する研究開発プロジェクト	科学技術	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■						2.90	
				防災・災害、土木分野関連のJICA海外協力隊派遣	JOCV	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■						
			課題別研修等（総合防災など）	課題別研修他	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■								
			防災分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■						0.10		

開発課題 2-2 (小目標) 環境調和型社会の 促進	【現状と課題】 コロンビアでは、国内武力紛争や貧困により地方農村部を迫られた国内避難民が都市部に急激に流れ込み、この状況に各種インフラが追いつかず、都市型環境問題が発生している。また、世界屈指の生物多様性を誇る自然環境を有する一方、乱開発・違法伐採等の対策、これら天然資源活用産業の育成が課題となっている。このため、環境問題への対応、生物多様性保全、天然資源の管理と持続的活用についての知見と技術の確立が重要な開発課題の一つである。			【開発課題への対応方針】 ・技術協力を中心とした都市部及び地方主要都市における廃棄物処理、廃水処理、大気汚染対策等に係る法制度の強化・整備、実施体制強化及び施設整備など総合的に支援する。 ・気候変動対策（適応・緩和策）の検討、実施に係る政策強化を支援する。 ・天然資源などの持続的利用に係る法制度の整備及び体制強化を支援する。 ・自然災害に関する防災教育の普及拡大と防災体制の構築を支援する。 ・上記方針を通じ、持続可能な開発目標6（水・衛生）、7（エネルギー）、9（インフラ、産業化、イノベーション）、11（持続可能な都市）、13（気候変動）、15（陸上資源）等の達成に貢献する。								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025		
	環境調和型社会形成支援プログラム	環境問題の発生を低減するための対策を通じて、持続的社會經濟發展に向けた取組を行う。	環境教育、都市計画、再生可能エネルギー、建築関連関連のJICA海外協力隊派遣	JOCV	■■■■■							
		関連課題別研修等（保護地域共同管理を通じた生態系保全、大気環境管理、熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム、排水処理など）	課題別研修他	■■■■■								
		農業温室効果ガス削減のための栽培管理システム及び作物の開発	マルチ	■■■■■							0.84百万USD	農林水産省国際熱帯農業センター(CIAT) 拠出金

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「水産無償」（＝水産無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融资）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」）、「実証」「——」（＝実施期間）、破線「- - - -」（＝実施予定期間）